

レジメン登録フォーマット

申請年月日		使用開始日	平成27年1月1日
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師	化学療法委員会承認# 平成 年 月
レジメン名	EP(VP-16+CDDP(小細胞がん)(ホスアプレビタント)		
疾患名	小細胞がん	適応の備考	がん腫:胆のう、膵、肺、胃、食道の小細胞がんを使用する。
適応分類	進行再発		
1コース日数	21 日間	総コース数	有効な限り コース催吐性リス#day1 軽度、day2～高度
抗がん剤投与量・投与日	エトボシド 100mg/m ² day1,2,3、シスプラチン80mg/m ² day2		
治療スケジュール・投与日程(投与日は●)	(day)		

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	主ルート		/																						
	点滴静注	フィジオ140輸液500mL	2 本 / body	4 時間	●																				
2	主ルート	生食250mL	1 本 / body	30 分	●																				
	点滴静注	ホスアプレビタント注150mg	1 本 / body		●																				
抗がん剤の投与1時間前に30分かけて点滴																									
3	主ルート	ハロセトロン注ハッグ0.75mg50mL	1 本 / body	30 分	●																				
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2ml	1 本 / body		●																				
		デキサート注射液1.65mg/0.5mL	2 本 / body			●																			
4	主ルート	生食500mL	1 本 / body	2 時間	●																				
	点滴静注	シスプラチン	80 mg / m ²		●																				
シスプラチンと同量の生食を抜いてから混注する(合計500mLとする)																									
5	主ルート	生食100mL	1 本 / body		●																				
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2ml	1 本 / body	30 分	●	●																			
6	主ルート	生食100mL	1 本 / body					●	●																
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2ml	2 本 / body	30 分				●	●																
7	主ルート	生食500mL	1 本 / body	1 時間	●	●	●																		
	点滴静注	エトボシド	100 mg / m ²		●	●	●																		
100mgあたり、250mLの生食液に混和																									
8	主ルート		/																						
	点滴静注	フィジオ140輸液500mL	2 本 / body	2 時間	●																				
9	主ルート		/																						
	点滴静注	生食50mL	1 本 / body	5 分	●	●																			

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。(例:Rp2とRp3を同時に投与開始する。)

【投与上の注意】

シスプラチン: 希釈は生食のみ。

シスプラチン: 腎毒性軽減のためhydrationが必要。

シスプラチン: 適宜、利尿剤を投与

・ホスアプレビタントは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。

・ホスアプレビタントは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。

・ホスアプレビタントの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。

エトボシド: DEHPフリー点滴セット使用。